

四街道子どもブックリスト（中学生用）

中学生
のみなさんへ

イチ推しの本!



よつかいどうし 四街道市がオススメする本です。ここにのっている“お推し本”を、ぜひ読んでみてください!

あつかったらぬげばいい

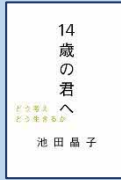
ヨシタケ シンスケ（白泉社）



ヘトヘトに疲れたら、誰も分かってくれなかったら、世界が変わってしまったら…。子ども、大人、おじいちゃんのような疑問に痛快に答える、ヨシタケ式心をあたためる絵本。

14歳の君へ

池田晶子（毎日新聞社）



これから君は幸福な人生を生きなくちゃならない。不幸な時代であっても幸福な人が不幸になることだけは決してない。著者が贈る人生の教科書。

賢者のことば

和田孫博（新星出版社）



なぜ勉強するのか？壁にぶつかったときどうすればいいのか？…子どもがもっているさまざまな疑問や悩みを、哲学者や偉人といわれる賢者が一緒に考えてくれる本。

まんが哲学入門

森岡正博（講談社）



「生きるってなんだろう」誰もが1度は考えたことのある問いについて「時間」「存在」「死」「生命」の4つの視点から、楽しい対話で考えられる哲学入門書。

君たちはどう生きるか

吉野源三郎（マガジンハウス）



中学2年生のコペル君が、学校生活の中で出会った様々な出来事について、おじさんと語り合う中で、人間としてどう生きていくかを考えていく物語。

フィボナッチ

ジョセフ・ダグニーズ（さえら書房）



数が大好きなレオナルドは、自然界には自然のもの、ある決まった数でできていることに気づく。フィボナッチ数列を発見した数学者の物語。

エンデュランス号大漂流

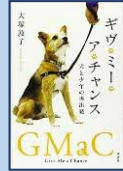
E・C・キメル（あすなろ書房）



シャクルトン率いる南極探検隊の船が流水によって沈没した。氷の上に取り残された28人の乗組員が、絶望的な状況から奇跡の生還を果たすまでの記録。

ギブ・ミー・ア・チャンス

大塚敦子（講談社）



2014年千葉県八街少年院でスタートした「保護犬」を非行少年が保護するプログラム。訓練に密着して、3頭の犬と3人の少年たちの変化と成長を追った。

ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー

レイディみかこ（新潮社）



イギリス在住の著者の息子は、「元底辺中学校」を選び進学。学校生活の中で現実のナショナリズムやレイシズム、LGBTQに触れ、学び成長する日々を描く。

雪は天からの手紙

中谷宇吉郎（岩波書店）



皆さんは雪の結晶を見たことがありますか？世界で初めて、実験室で人工の雪を作り出すことに成功した数学者が、科学の面白さをわかりやすく伝える随筆。

蜘蛛(くも)の糸

芥川龍之介（新潮社）



極楽のお釈迦様は地獄にいる健陀多という男を極楽に救おうと、地獄へ蜘蛛の糸を垂らした。健陀多は、その糸を一生懸命に上っていくとどうなるか…。

箱男

安部公房（新潮社）



見たいけど、見られたくないという気持ちはないですか？ダンボール箱を頭から腰まですっぽりかぶり都市をさまよう箱男。箱男が覗き窓から見る世界とは？

俘虜記(ふりよき)

大岡昇平（新潮社）



一等兵として太平洋戦争に従軍した著者の体験に基づいた連作小説。フィリピンのミンドロ島で米軍の俘虜となる前と後、復員するまでの一年間を描いた。

鬼の橋

伊藤遊（福音館書店）



平安時代実在の貴族、小野篁の少年時代を描くファンタジー。妹が落ちて死んだ古井戸から冥府に迷い込んだ篁は、征夷大將軍坂上田村麻呂と出会う。

獣の奏者

上橋菜穂子（講談社）



獣/医術師だったエリンの母は、世話をしていた鬩蛇が死んだため処刑された。エリンは蜂飼いのジョウンに助けられ、やがて王獣の医術師をめざす。

園芸少年

魚住直子（講談社）



入学したばかりの高校で見つけた空き地には園芸部の植木鉢が。そこで出会い思いがけず園芸部に入部することになった3人の少年たちの物語。

ある晴れた夏の朝

小手鞠るい（偕成社）



日系アメリカ人のメイは友人から8月の公開討論会の参加者に誘われる。原爆の是非をテーマに、メイたち8人は肯定派と否定派に分かれ討論に臨む。

源平(げんぺい)の風

斉藤洋（偕成社）



修行の末、人間に化けることができるようになったきつねの白狐魔丸は、兄頼朝から逃れ、追っ手に追われる義経一行と同行する中で武士の無常を目の当たりにする。

百年後、ぼくらはここにいないけど

長江優子（講談社）



地理歴史部(チレキ)廃部の危機に、健吾たちは時の流れや人々の想いを感じながら、百年前の渋谷のジオラマを作っていく。ちょっと切ない部活小説。

鉄のしづきははねる

まはら三桃（講談社）



工業高校機械科1年唯一の女子、冷たく熱い鉄の塊に挑む。めざせ、ものづくりの神髄!「高校生ものづくりコンテスト」に挑戦する女子高校生の旋盤青春物語。

夜間中学へようこそ

山本悦子（岩崎書店）



祖母の付き添いで夜間中学へ通うことになった優菜。そこで出会った仲間たちとのかけがえのない日々。どうして勉強するのか、なぜ学校に行くのか。多感な中学生の目を通して描く。

旅猫(たびねこ)レポート

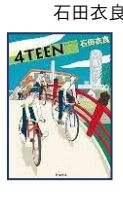
有川浩（講談社）



サトルに拾われて幸せに暮らしてきたオス猫のナナ。しかし、サトルはナナを手放さなければならなくなってしまった。引き取り手を探そうとサトルとナナは銀色のワゴンに乗って旅に出る。

4TEEN

石田衣良（新潮社）



長屋ともんじや焼きと超高層マンションが調和して共存する町・月島。この町で僕たちは恋をし、傷つき、死と出会い、大人になっていく。14歳の少年たちを描いた爽快青春ストーリー。

博士の愛した数式

小川洋子（新潮社）



80分しか記憶がもたない天才数学博士と、家政婦とその10歳の息子。驚きと歓びに満ちた日々が始まった。永遠に心に生き続ける「至福の愛」の物語。

蜜蜂(みつばち)と遠雷(えんらい)

恩田陸（幻冬舎）



自宅にピアノを持たない少年、かつての天才少女、サラリーマン…。ピアノコンクールを舞台に人間の才能と運命、音楽を描いた青春群像小説。

ソバニルヨ

喜多川泰 (幻冬舎)



長期出張に行く父が、中1の隼人はA搭載ロボットのユーゾ。「アイ」を伝えるために生まれたと言うが、思っていた「アイ」ではなく…。

きみの友だち

重松清 (新潮社)



「私はみんなって嫌いだから。『みんな』が『みんな』でいるうち、友だちじゃない、絶対。」様々な人物の痛みや葛藤を描き、「友だち」とは何かを問いつける連作長編。

きよしこ

重松清 (新潮社)



上手くしゃべれない吃音のキヨシ。言いたいことが言えない。でもほんとうに伝えたいことだったら、きっと伝わる。キヨシは「きよしこ」に教えてもらった。

あと少し、もう少し

瀬尾まいこ (新潮社)



駅伝大会のために寄せ集められた6人の選手と1人の顧問。大会当日、事情を抱えながら全員が必死にタスキを繋ぐ。章ごとに語り手が変わり、それぞれの悩みが語られる。

かがみの孤城

辻村深月 (ポプラ社)



いじめが原因で不登校になった中2のころ。ある日、謎のオオカミ様に鏡の中の孤城に招待される。そこには同じ境遇の6人が…。

くちびるに歌を

中田永一 (小学館)



五島列島にある中学校の合唱部。課題曲「手紙～拝啓十五の君へ～」にちなみ、15年後の自分へ手紙を書く。そこには誰にも言えない秘密が綴られていた。

風が強く吹いている

三浦しをん (新潮社)



陸上とは無縁だった8人と、灰二と走は箱根駅伝に挑む。「速く」ではなく、「強く」ゴールを目指して襷を繋ぎ、仲間と繋がって行く感動の小説。

永遠の出口

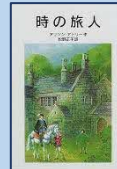
森絵都 (集英社)



千葉県の日田町が舞台。クラス一致団結して反抗した小5、荒れた中学校生活を送り、高校で初めて彼氏ができる。多感な十代の少女の日々を描いた作品。

時の旅人

アリソン・アトリー (岩波書店)



療養のため田舎の農場に預けられた少女が、現代と16世紀を行き来することになり…。『バピントン陰謀事件』を下敷きに描かれたファンタジー物語である。

運命の騎士

ローズマリ・サクリフ (岩波書店)



11世紀、覇権争い渦巻くイギリス。犬飼いの孤児ランダルは騎士一族のペービスに仕えることとなる。身分を超えた友情と成長の物語。

ジーキル博士とハイド氏

ステイーヴンソン (岩波書店)



ある事件をおこした奇妙な男、ハイド。アタスが調べると、人望厚い医師・ジーキルの家に入り出している。全く正反対なこの二人の関係は？

指輪物語[シリーズ]

J.R.R.トールキン (評論社)



かつて魔王が作った悪しき『指輪』を、五千年を経てホビット族が偶然手に入れる。魔王の復活を阻止するため、その『指輪』を破壊すべく戦いと冒険の物語。

トムは真夜中の庭で

フィリパ・ピアス (岩波書店)



親戚の家に預けられ退屈きつたトムは、真夜中に時計が十三時を打つのを聞き、屋間にはなかったはずの庭園に誘い出されて、不思議な少女と出会う。

赤毛のアン[シリーズ]

R・M・モンゴメリ (講談社)



働き手となる男の子のかわりに、手違いでプリンスエワード島に住む年取った兄妹に引き取られた、空想好きな赤毛の女の子の成長物語。

影との戦い[ゲド戦記1]

ルーゲイン (岩波書店)



主人公の少年ゲドが魔法の修行中、傲りと妬みの心から死の影を呼び出し、その影に追われて彷徨うが、その影と対峙することで自分を見つめ直すという物語。

モモ

ミヒエール・エンデ (岩波書店)



私たちは毎日時間に追われて生活して、まるで時間泥棒に時間を盗まれているようだ。この本は、時間泥棒から人間に時間を取り戻してくれた女の子の物語。

黒い兄弟

リザ・テツナー (あすなろ書房)



スイスの貧村で育ったゾルジュは人買いに買われ、イタリアで危険な煙突掃除の仕事に就かされる。この本は彼が「黒い兄弟」という結社に入り、仲間と力を合わせて劣悪な環境から逃亡し母国に戻る物語。

クラバート

オトフリート・プロイスラー (偕成社)



夢のお告げで水車場にやってきたクラバートは親方の下で仕事と魔法を習う。しかし、仲間の死をきっかけに水車場の秘密に気がついた彼は親方と対峙する。

あのころはフリードリヒがいた

ハンス・ペーター・リヒター (岩波書店)



ヒトラー政権下のドイツでは、ユダヤ人への迫害が厳しさを増していく。ドイツ人の「ぼく」の視点でユダヤ人少年フリードリヒの日常が綴られる。

星の王子さま

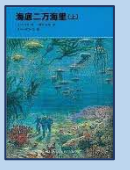
サンテグジュペリ作、内藤 濯訳 (岩波書店)



サハラ砂漠に不時着した飛行士は、ちいさな王子さまに出会う。王子さまは、自分の小さな星のことや、地球にたどり着くまでに巡った星の出来事を話し始める。

海底二万海里

J・ベルヌ (福音館書店)



謎の怪物による船の沈没事故調査に乗り出したアロナックス博士と助手コンセーユはネモ船長の操る潜水艦ノーチラス号に乗りこむことに…。さあ、未知の海底冒険の始まりです。

レ・ミゼラブル

ヴィクトル・ユゴー (福音館書店)



ひとかけのパンを盗んだ罪で19年間投獄されたジャン・バルジャンはミリエル司教の導きにより生まれ変わる決心をする。ジャンの波乱に満ちた人生の物語。

穴

ルイス・サッカー (講談社)



スタンリーは無実の罪で少年矯正施設に送られ、来る日も来る日も穴を掘り続けることに。脱出を決意したスタンリー少年は一族の約束の地を目指す。

この湖にボート禁止

ジェフリー・トリーズ (福音館書店)



湖のそばに引っ越してきたビルと妹のスーザンは、ボートで湖に浮かぶ小島に漕ぎ出す。しかし、島の持ち主に「湖はボート禁止だ」と言われ…。

ギヴァー

ロイス・ローリー (新評論)



管理された未来社会に暮らすジョナス。すべての子どもの職業が決まる「12歳の儀式」の日、彼はただ一人「記憶の器」(レシーヴァー)に選ばれる。



気になる本はありましたか？

読み終わったら家族や友達に感想を伝えて、読書の輪を広げましょう！

市内で本の貸し出しをしている

学校の図書館・四街道市立図書館・四街道公民館・旭公民館・千代田公民館

でも探してみよう！